

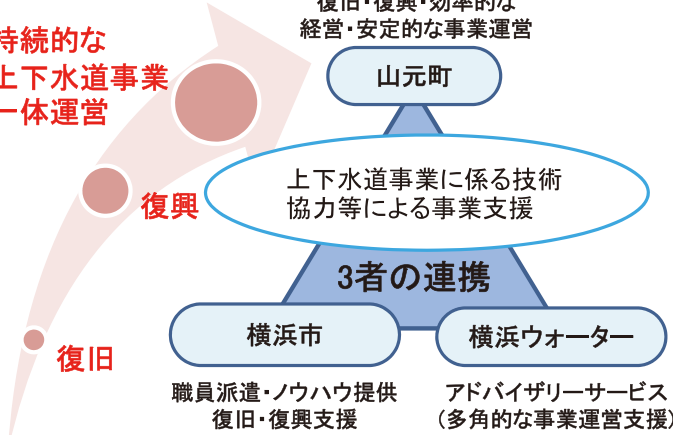
アセットマネジメント部門

公公連携による持続的な上下水道事業一体運営

宮城県山元町、神奈川県横浜市、横浜ウォーター株式会社

受賞事例の概要

持続的な
上下水道事業
一体運営



【横浜市における主な支援】

- 災害復旧に係る職員派遣
- 災害復旧事業支援
- 災害公営住宅に係る下水道管布設技術支援
- 公営企業会計支援
- 震災支援技術研修

【横浜ウォーターにおける主な支援】

- 包括的民間委託導入支援
- 包括的民間委託モニタリング
- 財政計画策定
- 長寿命化計画策定
- 上下水道ビジョン、中期経営計画策定
- 住民コミュニケーションの取組

【双方向の取組】

- 横浜市BCP訓練への山元町職員参加
- 山元町ふれあい産業祭への出展など

“持続的な上下水道経営基盤構築に向けた公公連携”

～人・モノ・カネの一体マネジメント～



包括的民間委託
モニタリング会議

上下水道ビジョン
検討会

ふれあい産業祭への
共同出展

長寿命化計画策定の
ための設備診断

PRポイント!

東日本大震災で被災した山元町上下水道事業の支援のため、横浜市・横浜ウォーターは災害復旧等の支援を行ってきました。平成25年に山元町・横浜市水道局・横浜ウォーター3者による協定を締結し、効率的な経営や安定した上下水道事業の実現に向けて横浜市から職員派遣とノウハウ提供、横浜ウォーターからは公的な視点に立ったアドバイザーサービスを提供することでマンパワーやノウハウ不足を補い、持続可能な上下水道経営基盤の構築に貢献しています。

取組の効果!

山元町では、職員不足や財政状況が悪化するなか、横浜市・横浜ウォーターとの3者連携により、包括的民間委託の導入、財政計画の見直し等の改善活動を行い、復旧・復興のほか安定した事業運営を進めています。また、限られた職員数の中、長寿命化計画や中期経営戦略の策定など持続的な上下水道事業運営に向け取り組んでいます。さらに、横浜市BCP訓練での山元町職員の参加、山元町産業祭への出展などの連携を通じて双方向での効果が発揮されています。

Key Person



山元町長 齋藤俊夫

山元町の上下水道施設は、東日本大震災により甚大な被害を受け、マンパワーの不足や知識・経験不足に直面するとともに、人口減少により上下水道事業の経営は悪化していきました。その後、当町が復旧・復興官民連携のモデル事業に採択されたことや横浜市からの継続的な職員派遣が縁と深め、3者による協定を締結し、着実に復旧・復興に向けて取り組んできました。現在は、包括的民間委託導入等の効果もあり、上下水道事業は安定しています。今後も、この絆を大切に、安定した上下水道事業運営を目指してまいります。